

**【JIBC(Japanese International Baptist Church)】** ポートランド  
牧師 横井マイク

## JIBC 主任牧師招聘に関して

「ヨシュアは年を重ねて老人になった。主は彼に仰せられた。『あなたは年を重ね、老人になったが、まだ占領すべき地がたくさん残っている。』」  
ヨシュア記 13:1

2016年10月のある日、私はふと、JIBCを引退することを思った。時期はいつか、後任の主任牧師はだれなのか、と考えた。牧師室での真剣な祈りとまで言えないが、主に語りかけるように口走った。その時、今まで一度も考えたことのない人物が頭をよぎった。それは長男、道継牧師だった。しかし、自分でも理解できず、疑問だらけだった。その理由は、2つ。1つは、息子を指名することはどうなのか。2つ目、彼が礼拝担当牧師（当時パートタイム）のとき、スタッフ会で、彼とよく意見が食い違い、一緒に牧会することへの壁を感じていたからだ。その彼が、約9年前、仕事で日本駐在に導かれたということで、家族4名で出かけて行った。その間、主に導かれた教会で、1信徒としてやってきたが、途中から副牧師として、牧会に参加するようになった。一方、日常生活は、米国本社の日本支店としての営業と様々なサービス業務を任されていたので、殆どが全国くまなく出張づくめだった。仕事も順調に推移し、駐在者としての高額給与の生活に慣れ、3番目の子も与えられ、駐在者から永住者への道に見えた。そんな生活状況の中、妻の有子姉の御母堂ががん治療中。現状を考える時、道継牧師一家が、日本から米国に戻る可能性は薄かった。

しかし、同月、不思議な事が起こった。彼からメールがとどき、自分が霊的に渴きを覚るようになり、このままではゆかないだろうと言った。言い換えると、選任牧師としての歩みを考え始めた。だから、私にも祈ってほしいという内容だった。それまで私は、彼はこのまま、日本でサラリーマン駐在者として、定年を迎えるのだな、と思っていた。だから、私の長年の祈りを主が聞かれたように感じた。

11月に入り、彼から新たなメールで、関西の大きな教会（礼拝が250名ほど）の主任牧師としてのお招きがあったとの報告。そのことを、これから妻と祈るから、私にも祈ってほしいと言ってきた。それを聞いたとき、私は少し、複雑な気持ちになった。それは、先月、私の後任に道継牧師をどうか、と思わされたのは、主からだったのか、と。

しばらく道継・有子夫婦で祈った答えがでた。それは、二人とも、このお招きは、主に導かれない、ということだった。その結果を電話で私に連絡くれた際、私の口から道継牧師に、言った。「あなた方は、将来、JIBCで伝道することに導かれないか、を祈ってほしい」と。それが、12月に入ってからだった。そうしたら、彼はその場で、以前から、そういう思いがあったこと、しかし、私マイクが導かれていないだろうと思っていたので、聞いて、内心驚いたようだ。

年が明けて、2017年2月初め、セントルイス日本国際ハーベスト教会（生方牧師）10周年に招かれた際、牧師夫人から言われた言葉が、神様のからの回答と受け取った。「先生。先生はリタイヤを考えていらっしゃいますか」。帰宅後間もなく、私は道継牧師にメールで、自分のリタイヤを、2018年12月に決めたことを伝えた。同時に、もし、この計画が神様からなら、JIBCの主任牧師を受け入れることについて、主からの導きを尋ねた。すると、祈りの結果、その決断へと、夫婦が導かれたことを私に語ってくれた。その後、2017年2月中旬に、スタッフと牧師夫人たちが集まり、このことについて協議し、意見交換を行った。主は私たちのスタッフに一致の霊をくださった。その後、2017年10月まで、スタッフと牧師婦人が祈りを積み、11月のリーダー会（役員会）に、この提案を提出した。間もなく教会員に私のリタイヤ時期が報告された。すぐに主任牧師招聘委員会のメンバーが推薦され、1か月の準備が続けられ、2018年1月末、主任牧師としてのクライテリア（査定基準）作成のため、各ミニストリー責任者たちに意見をお聞きし、3月には、表が完成した。その結果を招聘委員会が協議し、5月に道継牧師への、スカイプインタビューがほぼ2時間にわたって行われた。その報告書が提出され、5月末の教会員総会にて決議され、投票の結果、93%賛成投票で、主の導きへの確信が与えられた。

教会の新館建築計画から3年半、建物内部の装備も出来上がり、新しい年に向かって、宣教の拡大への準備が整いつつある。無借金で与えられた新館を主にささげ、次世代の人々への宣教拡大を主は、準備してくださった。主に栄光あれ！

道継牧師たち一家5名も、8月にポートランドに帰り、私との引継ぎも、少しづつ進められている。  
JIBCも今後、1世代交代し、主からの新たなチャレンジを頂き、地域、北米、世界へと福音宣教に用いられていくように、私たち夫婦は、背後で祈り続けてゆく。



## 【Crossover Japanese Church of Calgary】カナダ・カルガリー 谷口みゆき

クロスオーバー日本人教会は、カナダのアルバータ州カルガリー市にあります。2008年に、牧師夫婦と二人の姉妹で、家の教会が始まりました。神様に「死から命に移る」(ヨハネ5:24)魂を多く起こしていただきたいと願い、crossoverと名付けました。

この小さな集まりを、主は、使徒4章29、30節の御言葉をもって、祝福してくださいました。開拓伝道の初期の頃は、特に沢山の奇跡がありました。世界を飛び回っていたビジネスマンの男性が脳梗塞になりました。彼はクリスチャンの妻を迫害していました。危篤状態の中、暗闇の淵で底知れぬ穴を見た彼は、「神様、命を助けてください。もし、そうしてくださるなら、イエスを信じ、洗礼を受けます」と叫びました。その瞬間、意識が戻りました。リハビリを頑張り、歩けるようになった時、神様に約束した通り、洗礼を受けました。

クロスオーバー最初の宣教師として、ウガンダに行った女性がいました。彼女はマラリヤにかかり、危篤状態に陥りました。内臓は機能せず、手足が炭のように黒くなっていきました。住職の息子であった彼女の夫は、至急ウガンダに飛びました。そこで彼は、彼女の上に働かれた主の御業を目の当たりにしました。無神論者だった彼は、主を受け入れ、奇跡的に回復した彼女と共にカナダに戻り、洗礼を受けました。

若いお母さんが、福音を信じ、洗礼を受けました。彼女の5歳の娘が、のどのポリープを取る手術を受けることになりました。私たちは小さな子が手術を受けるのが痛ましく、一生懸命祈りました。手術の日、麻酔をかけたあと、何と切るはずだったポリープが無くなっていました。女の子は手術をせずすみしました。

白血病の4歳の男の子が、抗がん剤治療を受けていました。お母さんはその子を失うかもしれない恐ろしさに、命の意味や真理を求めました。その経験を通し、彼女は、クリスチャンになりました。主は男の子を癒してくださり、親子で洗礼を受けました。その子のお兄ちゃんも続いて洗礼を受けました。彼女はこの10年間役員として教会を支え続けてくださっています。

末期癌の女性がいました。私たちは順番に、彼女と家族のお世話をさせていただきました。時間はかかりましたが、彼女はクリスチャンになりました。病状が進み、食べ物を受け付けなくなり、あと数日の命だと言われました。彼女には3人の小さな男の子がいました。彼女は息子たちに福音を伝えました。彼等もイエス様を信じ、彼女のベッドの横で洗礼を受けました。私たちは彼女の癒しを祈りました。40日何も食べることができなかった彼女が、突然に食べれるようになりました。寝たっきりで体も動かすことができなかった彼女が、ベッドから起き上がり、歩き始めました。主は彼女に新たな命を与えてくださいました。アルコール依存症だった彼女の夫もリハビリクラスに通い、迷惑をかけた人々におわびし、よい夫、よい父親になりました。家族はその後、春夏秋冬、時を一緒に過ごしました。ステンドグラスのアーティストだった彼女は、3人の息子たちのために、一つずつ、作品を作り上げました。そして、また春が巡り来た時、彼女は、私たちにお葬式の話をしました。「祈り続けたら、きっと神様は子供たちとずっと過ごさせてくれるよ」そう言いました。しかし彼女は、「私はもうイエス様の所に行きたいの」と言いました。そして、ホスピスに入り、1週間後、主のもとに召されました。私たちはこれら一つ一つの奇跡に多いに励まされました。

礼拝者が 30 人程になった頃、主は私たちに Westview Baptist Church というサポート教会を与えてくださいました。彼等は礼拝場所を提供してくださり、また移民局に牧師の就労ビザの申請をしてくださいました。それによって、私たち家族は、1 年半の無収入の状態から解放されました。それまでは、カラスに養われたエリヤのように、私たち家族は主に養われました。色々な方々が、食べ物や献金をくださり、私たちは支えられました。

振り返ってみると、開拓伝道を始めて今年で 10 年です。CD プレイヤーで始めた賛美も、今は 4 チームの賛美グループがあります。日本語教会ですが、主は、2 年程前から、日本語を話さない留学生達を送ってくださるようになり、英語部ができました。月 3 回は、賛美のあと、英語部、日本語部に分かれて礼拝をしています。月 1 回は、大学生の娘の通訳で、合同礼拝をしています。通常は 4、50 人の礼拝人数ですが、6 月にミッションエステルが来てくださった時は、77 人と今年最高の出席者が与えられました。

私たちは今、後継者を祈り求めています。しかし、前回の JCPN コンファレンスで、ヨシュア記 13 章 1 節「あなたは年を重ね、老人になったが、まだ占領すべき地がたくさん残っている。」というみ言葉を与えられ、老体に鞭打って？がんばっています。「主よ、カナダの地にもたくさんの日本人教会を起こしてください！」と祈りつつ。



## ▷2018年JCPNカンファレンス報告

リンウッド日本人ファミリー教会 牧師 金田豪

毎年行っている JCPN カンファレンス、今年のごすべるシロアム教会がホストをしてくださいました。6月26日～28日にかけてロサンゼルスで行われ、約80名が集いました。

今年のテーマはマタイ16：18より「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます」でした。講師は蓮根バプテスト教会の高木康俊師、創愛キリスト教会の宮崎聖師、そしてジョージア州のクロスロード教会から元宣教師の大上高弘師が、みことばから熱く語ってくださいました。

開拓をしていると、どうしても「教会を成長させなければ」「リーダーを育てなければ」というプレッシャーの中で、あたかも牧師が教会を建て上げると言う錯覚に陥ってしまいがちです。今回のテーマはそんな私たちにもう一度「教会を建て上げ、成長させてくださるのはイエス様である」事を思い出させ、本当に大切な事はしっかりとみことばからイエス様を伝え、教えていく事であると改めて認識させてくれました。

シロアム教会の方々の熱いご奉仕により、ユースプログラム、子供プログラムも並行して行われました。

また毎食美味しい食事をいただき、1年に一度の貴重な交わりを満喫し、神様から励まされ、知恵と力をいただき、それぞれの遣わされた地に戻っていく事ができました。



## お知らせ～JCPN 開拓伝道支援会より～

・いつも J C P N（アメリカ日本人教会開拓ネットワーク）のために、お祈りとご支援を下さり、感謝致します。本ニュースレターの送付先について、変更・追加のご要望や、修正が必要な点がございましたら、大変お手数ですが、下記のメールアドレスまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。また、ニュースレターは、Eメールで配信をすることも可能となりました。Eメール配信をご希望の方も、下記ご連絡先までご一報くださるようお願い致します。

連絡先メールアドレス：[jcpn.shienkai@gmail.com](mailto:jcpn.shienkai@gmail.com)

### 会計報告

献金者ご芳名（2018年2月～現在）

2018/2/15	森祐理 様
2018/2/16	近藤千絵 様
2018/2/19	高岡哲夫・孝子 様
2018/2/22	田中滋子 様
2018/2/27	柏実樹 様
2018/3/9	結城福音キリスト教会 様
2018/3/20	結城福音キリスト教会 様
2018/3/27	帯山聖書教会 様
2018/4/2	吉永輝次・則子 様
2018/4/16	羽鳥頼和・路津子 様
2018/6/17	広辺貞子 様
2018/6/28	帯山聖書教会 様

献金総額は、162,070 円でした。

皆様からの尊い献げ物に、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

JCPN 開拓伝道支援会

< JCPN 加盟教会 (2018年9月現在) >

- ・日本インターナショナルバプテスト教会 (JIBC) (オレゴン州ポートランド)
- ・JIBC タコマ (ワシントン州タコマ)
- ・サンホゼバプテスト教会 (カリフォルニア州サンホゼ)
- ・JIBC フェニックス (アリゾナ州フェニックス)
- ・ごすぺるシロアム教会 (カリフォルニア州パサデナ)
- ・リンウッド日本人ファミリー教会 (ワシントン州リンウッド)
- ・ユージーン日本語バプテスト教会 (オレゴン州ユージーン)
- ・日本語インターナショナル・ハーベスト教会 (ミズーリ州セントルイス)
- ・パールシティ第一バプテスト教会日本語部 (ハワイ州パールシティ)
- ・日本語ホープマウンテン・ファミリー教会 (コロラド州デンバー)
- ・サンディエゴ日本語南部バプテスト教会 (カリフォルニア州サンディエゴ)
- ・パロマー日本語バプテスト教会 (カリフォルニア州エスコンディド)
- ・オーランド日本語バプテスト教会 (フロリダ州オーランド)
- ・ピッツバーグ国際日本人教会 (ペンシルベニア州ピッツバーグ)
- ・サンアントニオ日本恵みインターナショナル教会 (テキサス州サンアントニオ)
- ・クロスオーバー日本人教会 (カナダ カルガリー)

「2020年までに北米に120の日本語教会を！」

○北米における日本人伝道と教会開拓のためにぜひお祈りください！

○北米における日本人伝道と教会開拓のためにぜひお献げください！

郵便振替口座 口座番号 01730-9-141037

加入者名 JCPN 開拓伝道支援会

\*お振込みいただく際は、ご支援される教会名もしくは牧師名を、指定  
献金先として通信欄にご記入ください。特にご指定がない場合、JCPN  
エマージェンシーファンドへの一般献金とさせていただきます。皆様  
の尊い祈りと献金を心より感謝申し上げます。